レター

外科手術書の「結び」の呼称

小池 壽 男

The Diction in Regard to “Knot” in the Textbook of Surgical Operations

Toshio KOIKE

外科手術の基本的な手技の一つに結紮があり、獣医外科臨床では日常的に用いられている。したがって外科手術書の基礎的記述の中に図解説明されている。近年、我国の外科手術書における糸結びの説明に用いられている「結び」の呼称に混乱があり、特に邦文名でそれが著しく、従来の日本の慣習との関連でも不都合な表現と思われる点もある。

1. 外科手術書での呼称

外科手術書で「結び」を図解説明しているものからの邦文呼称を著書の発行年順にまとめみると、表1のようになる。Aの結び方は外科結節あるいは外科結びと称してほぼ一貫しているが、BおよびCの結び方の呼称においては1960年代後半から混乱がみられる。これに対して欧文名は、表2のようにほぼ一定である。

2. 慣習としての呼称

大辞典(1935)¹⁰⁾によれば「結び」について次のようにのべている。

○オトコムスビ 男結。諸結の一。垣・矢来等の緒の結び方。女結に対す。右の端を左の下にまわし更に右に返して輪を作り、左の端をまわしてその輪に通して結ぶもの。

○オンナムスビ 女結。緒の結び方。男結が右から始めるのを左から始めるもの。

○コマムスビ 小間結、細結。紐の結び方の一。左右の先端を二度からませて結び、あとえ戻すことなく、単に引くのみでは解くことが出来ぬように結ぶこと。本結、真結。

○タテムスビ 縦結。結び方の一。こまむすび、てふむすび等の斜めに捩れ歪みたるもの。

また大辞林(1988)¹¹⁾によれば次の様に述べている。

○おとこむすび 男結び。ひもの結び方の一。右端を左端の下にまわして返した輪に左端を通して結ぶ。解けにくいので垣根・矢来・門松などを結ぶときに用いる。

○おんなむすび 女結び。ひもの結び方の一。男結びの結び方を左から始めたもの。

○こまむすび 細結び、小間結び。紐の両端を交差させて結び、再び交差させて結ぶ結び方。真結び、玉結び。

○たてむすび 縦結び、結んだ紐の先が紐と平行にならず、十の字になる結び方。

これ等の結び方は、おほつき四郎編著の「なわ結び」(1975)¹²⁾に詳細に図解されており、男結びと女結びは図1のようになる。

3. 考察

紐の結び方は大別すると作業的結び方、装飾的結び方および記録的結び方の3種¹³⁾となり外科手術でのものは、作業的なものの中での繋ぎ合せ(結合)の結び方に属している。

今回の外科手術時の「結び」の邦文名に於ける

酪農学園大学(北海道江別市, 〒069)
Rakuno Gakuen University, Ebetsu, Hokkaido
069, Japan

表 1 結びの邦文名

年代	結 び の 形			文献
	A	B	C

1935	外科的結節	立結 婦女結節	尋常結節	22
1946	外科結び	男結び	女結び	9
1955	外科結び	男結び	女結び	10
1955	外科結節	婦女結節 立結	尋常結節	6
1963	外科結節	婦女結節	尋常結節	7
1965	外科結び	女結び	男結び	5
1967	外科結び	女結び たて結び	男結び	4
1970	外科結び	逆結び 男結び	角結び 女結び	20
1981	外科結び	男結び	女結び	8
1985	外科結ば	逆結び 女結び	角結び 男結び	21
1986	外科結び	立結び	こま結び	19
1987	外科結び 外科結節	女結び 婦女結節 たて結び 逆結び	男結び 尋常結節 本結び こま結び	3

混乱は、Bの結び方のドイツ語名の **Weiber-knoten** を婦女結節と邦訳したことから、これを女結びと称してこれに対するものとしてCの結び方に男結びの語を当てたことにより、さらにBが時には男結びと俗称されていることなどが加わって生じたものと思われる。

しかしながら、本来の日本語にある男結びおよび女結びはここに挙げたBおよびCの結び方とは異なる結び方を指していることが明らかである。このような混乱の原因は学術用語としての「結

男結び

女結び

図 1 男結び・女結び

び」に男結びあるいは女結びの用語を安易に用いた点にもある。すでに医学の外科領域にあっては男結び・女結びを用いずBに対しては立結び、

表 2 結びの欧文名

年代	形			文献
	A	B	C	
1935	chirurgischer Knoten	Weiberknoten	Schifferknoten	22
1956	Chirurgischer Knoten		Schifferknoten	1
1961	Chirurgischer Knoten		Schifferknoten	2
1966	Surgical knot		Reef knot	15
1979		Granny knot	Square knot	23
1985	Surgeon's knot	Granny knot	Square knot	18
1986	surgeon's dnot	granny knot	square knot	19
1987	Surgeon's knot	Granny knot	Square knot	14
1987	surgical knot surgeon's knot	granny knot	square knot sailors knot reef knot	3

Cにはこま結びなどの用語をそれぞれ用いる傾向にある^{12,19)}。獣医外科領域においてもこの様な日常的に用いられる「結び」の用語に混乱があることは好ましくなく、この様な混乱のある男結び・女結びの用法から脱却し、立結びあるいはこま結びなどを用いる時期と言えよう。

参 考 文 献

- 1) Berge, E. (1956) : Tierarztlich Operationslehre, pp. 4-5, Paul Parey, Berlin.
- 2) Berge, E. u. Westhues, M. (1961) : Tierarztlich Operationalehre, 28th ed., pp. 6-8, Paul Parey, Berlin.
- 3) 後藤 稠, 他編(1987) : 最新医学大辞典, p. 397, 医歯薬出版, 東京。
- 4) 市川篤二, 他(1967) : 手術のコツ, pp. 8-9, 金原出版, 東京。
- 5) 井上 雄(1965) : 新しい外科手術 (上巻), pp. 8-9, 南江堂, 東京。
- 6) 黒澤亮助(1955) : 家畜外科手術学, pp. 38-39, 養賢堂, 東京。
- 7) 黒澤亮助, 他(1963) : 家畜外科診療, 1 版, p. 96, 養賢堂, 東京。
- 8) 黒澤亮助, 酒井 保 監修(1981) : 家畜外科診療, 増改 1 版, p. 138, 養賢堂, 東京。
- 9) 松葉重雄 (1946) : 獣医外科手術学, pp. 110-111, 金原出版, 東京。
- 10) 松葉重雄(1955) : 獣医外科手術学, 改訂 8 版, pp. 108-109, 金原出版, 東京。
- 11) 松村 明(1988) : 大辞林, pp. 344, 381, 912, 1492, 三省堂, 東京。
- 12) 日本整形外科学会学術用語委員会編(1977) : 整形外科学用語集, p. 65, 日本整形外科学会, 東京。
- 13) おほつき四郎 編(1975) : なわ (ロープ, 紐, 糸) 結び, pp. 30-31, 66-67, 総合科学出版, 東京。
- 14) Robin, E. and Robinson, G.M. (1989) : Knot security of suture materials. Vet. Surg., 18, 269-273.
- 15) Siller, W.G. and Fraser, J.A. (1966) : Veterinary Operative Surgery, pp. 8-9,

- Medical Book Co., Copenhagen.
- 16) 下中邦彦(1935) : 大辞典, 五卷, pp. 92, 306. 十一卷 p. 285. 十七卷 p. 133, 平凡社, 東京。
- 17) 下中邦彦 編(1962) : 国民百科事典, 5 卷 p. 548, 7 卷 p. 187, 平凡社, 東京。
- 18) Slatter, D.H. ed. (1985) : Textbook of Small Animal Surgery, pp. 320-321, W.B. Saunders Co., Philadelphia.
- 19) 相馬 智(1986) : 基本的外科手術手技・標準外科学(武藤輝一, 相馬智 編) pp. 23-45, 医学書院, 東京。
- 20) 高橋 貢 訳(1970) : 小動物外科手術学の基礎, pp. 70-71, 医歯薬出版, 東京。
- 21) 高橋 貢, 小笠原成郎 監訳(1985) : 大動物の外科手術, pp. 80-81, 文永堂, 東京。
- 22) 高橋信美, 鈴木五郎(1935) : 実地外科手術書, 増訂 2 版, pp. 150-151, 吐鳳堂, 東京。
- 23) Wingfield, W.E. and Kawlings, C.A. (1979) : Small Animal Surgery, An Atlas of Operative Techniques, pp. 30-31, W.B. Saunders Co., Philadelphia.